

大阪 保険医新聞

10/15
 2011年第1088号
 (毎月5、15、25日発行)

大阪府歯科保険医協会
 敬愛会
 志岐 隆
 代表
 大阪府浪速区幸町1-2-33
 電話(06)6568-7731
 http://osk-net.org/
 ●定価・年間10,000円 月1,000円
 ●1977年5月23日第三種郵便物認可



梅田章二・大阪府知事選
 予定候補



わたし考一・大阪市長選
 予定候補

知事選・市長選

梅田章二氏・渡司考一氏を推薦

医療助成拡充、国保料軽減など政策協定

協会は8日の理事会で、明るい民主大阪府政をつくる会推薦の府知事選予定候補・梅田章二氏と政策協定(3面)を結び、推薦することを決めた。大阪市長選では、大阪市内4地区が政策協定を結び推薦した大阪市長をよくする会推薦の予定候補・渡司(わたし)考一氏の推薦を決めた。大阪市長選は11月13日告示、27日投票が決まっており、橋下府知事が辞任して市長選に立候補する意向を固めていることから、知事選・市長選のダブル選挙になる見込み。協会はこれまでの理事会で「大阪府に対する基本政策」を確認し、医療・福祉優先の府政を知事選を通して実現することを目指している。大阪市内4地区も「健康で安心していられる大阪府を目指すための基本方針」を確認してきた。

協会は5月の第50回総会で知事選・市長選について、「大阪府・府下市町村の行政は、医療・福祉施策や歯科医療の提供体制の拡充に大きな影響がある」「2011年の大

阪府知事選挙・市町村長選挙では、住民の医療・福祉を崩壊に導く『大阪都構想』や道州制に反対し、協会方針や会員要求を進める候補を支援し、当選に全力をつくす』活動方針を決めている。知事選にあたっては、梅田氏と小澤力理事長が懇談(本紙既報)し、「安全・安心・やさしさの大阪」を掲げる梅田氏の政策は、子ども医療費助成拡充や国保料引き下げなどが盛り込まれ、協会政策と一致しているこ

とを確認、理事会として会員要求を実現するたため、政策協定を締結し、推薦することを決めた。大阪維新の会の候補者は、橋下知事が福祉医療費助成削減や旧WTC買取りを強行したことなどから協会政策とは相いれないと判断した。政策協定は12日、明るい会事務所で小澤理事長と梅田氏が署名、締結した。梅田氏は、「府民の安心のために全力を尽くす。維新の会も中学まで医療費無料化を出して

いるが、人気取りの政策。どこかで削って帳尻を合わせるだろう」と語った。大阪市長選では、協会の大阪市内4地区が9月30日に開いた合同地区役員会で、予定候補者らに医療関連政策を尋ねたアンケート結果などを検討し、協会方針と合致した渡司氏と政策協定を結び、推薦することを決めた。平松市長は、国民健康保険の資格書・短期証の発行、滞納者への差し押さえなどペナルティー強化など4年間の実績から推薦しなかった。維新の会は、「大阪都構想」が税収の約4割を「都」が吸い上げ、大型開発を推進しようとするもので、府民

一致しており、混合診療も認めていこうという動きが顕著、震災対策の強化、原発からの撤退、貧困と格差が広がるなかで国保料を引き下げ、市民の健康と暮らしを直接応援する施策を施行したいと抱負を語った。また、娘が歯科衛生士で、院所や保育所などで保険でよい歯科署名集めに頑張っていることも紹介された。

ダブル選挙

橋下府政・平松市政を検証

④

乳幼児医療費助成の対象年齢全国最低、公立高校の耐震化率43位、65歳以上の老人福祉費36位：一人当たりの住民税収全国4位の大阪府で、不名誉な数字が並んでいる。

他方、現府政下で企業誘致の補助金額は全国トップの150億円(一社当たりの上限)に引き上げられた。しかし、補助は増えても雇用の悪化に歯どめがかからない。税収に見合わない貧弱な社

会保障と、過剰とも言える大企業振興策――。府政運営の歪んだ構図が浮かび上がる。橋下府知事は、就任直後から社会保障

を切り捨て、捻出した巨額の税金をインフラ整備や大企業誘致に投入してきた。救命救急センター事業への支援廃止、私立学校への助成削減、震災対策費の縮小など、犠牲になった福祉施策は数え

億円、シャープと関連企業に244億円の大幅振る舞い。今後、「大阪都構想」のなかで、地下鉄などに約1兆円の超大

対決姿勢を強める平松大阪市長も、路線上では橋下知事と大差がない。3月に発表した「大阪府経済成長戦略」大企業への規制緩和や減税を盛り込み、「インフラを強化・

と称して公立保育所の民間委託や就学援助費の削減を進めている。自治体の本旨は、「住民の福祉の増進」(地方自治法第1

一条)だ。本来の目的を忘れ、ひたすら関西財界支援にまい進する両首長。「大企業が栄えれば経済は活性化する」方式の経済政策は、国政でも歴代の府市政でも続けてきたことであり、景気回復に結び付いていない。大阪を立て直すには、大企業

を切り捨て、捻出した巨額の税金をインフラ整備や大企業誘致に投入してきた。救命救急センター事業への支援廃止、私立学校への助成削減、震災対策費の縮小など、犠牲になった福祉施策は数え

型公共事業を進める。計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

計すると約2兆円の超大

4面に掲載
 2011年
 大阪府交渉の要望
 項目・要点解説

歯界

ペリーの艦隊が浦賀に来た頃に剣術は心身を鍛えるスポーツだった。剣術塾だらけの江戸で北辰一刀流の千葉道場は、名門の名を欲しいままに栄え他の流派を圧倒した。

その門下から幕末の英傑を多数輩出したせいだ。開祖千葉周作は名教師との評価が高い。その剣術指道法は観念的でなく、「理から学べ」と言い、刀の持ちかたも「紅差し指(薬指)は一番軽く」と具体的だ。

「いくら竹刀で頭を殴られても強くなる。頭で考える」と言う理屈屋だった。

日本のスポーツの理念はかつての「巨人の星」の精神主義から科学や理屈に委縮し、さらに現今の最大課題は集客である。

人気とそこから派生する金が選手の競技環境を向上させるからだ。台風で田が水浸しになっても米を心配する顔は少ない。人気スポーツのゴルフや野球の仕合の順延の方が心配らしい。

ワインに奪われた日本酒の人気奪回を願う声も今や少数派だ。

一致しており、混合診療も認めていこうという動きが顕著、震災対策の強化、原発からの撤退、貧困と格差が広がるなかで国保料を引き下げ、市民の健康と暮らしを直接応援する施策を施行したいと抱負を語った。また、娘が歯科衛生士で、院所や保育所などで保険でよい歯科署名集めに頑張っていることも紹介された。